

大分工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語 I	
科目基礎情報							
科目番号		R05S101		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		情報工学科		対象学年		1	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		(教科書)「現代の国語」(筑摩書房), 「高等学校 精選言語文化」(第一学習社) (教材)「常用漢字ダブルクリア 四訂版」(尚文出版), 「ビジュアルカラー国語便覧 改訂版」(大修館書店) , 「現代の国語 準拠 課題ノート」(筑摩書房), 「精選言語文化 学習課題集」(第一学習社)					
担当教員		山下 航正					
到達目標							
(1) 現代文(評論・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎を身につける。(提出課題・定期試験) (2) 古文・漢文の読解の基礎力を身につける。(提出課題・定期試験) (3) 文章の内容や箇所の問いに対して自分なりに文章にまとめる作文力や発表力を身につける。(提出課題・定期試験) (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力をつける。(漢字テスト・定期試験)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を十分身につけている。		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけている。		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけていない。	
評価項目2		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を十分身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけていない。	
評価項目3		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を十分身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけていない。	
評価項目4		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を十分身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (C1)							
教育方法等							
概要		・現代文(評論文・随想・小説)及び古文・漢文を読み, 内容読解・鑑賞・文章作成を行う。また, 表現力の向上に向けて作文や発表を行う。 ・漢字問題集を試験範囲とした「漢字テスト」を定期的に行い, 漢字・語句の力を身につける。 【科目情報】 関連科目 国語総合(2年), 現代文(3年)					
授業の進め方・方法		基本的に講義を中心に学習するが, 可能であればアクティブラーニング形式の授業も検討・実施する。 【事前学習】 次の授業で扱う教科書本文を必ず読んでおくこと。					
注意点		(履修上の注意) 授業ノートの提出、漢字の小テスト、課題の提出等を評価して、課題点(30点満点)とする。 (自学上の注意) 通読や辞書引き(語意調べ)、教科書準拠の課題ノート等を用いて予習・復習をすること。					
評価							
(総合評価) 総合評価 = 【(各回の定期試験の得点) × 0.7 + 課題点(30点満点)】の4回分の平均。各回の成績は当該回までの平均点で算出・提示する。 (単位修得の条件について) 総合評価が60点以上であることを単位修得の条件とする。 (再試験について) 再試験は総合評価が59点以下の者に対して実施する。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス 評論「ことばとは何か」1		本授業の目的や内容を理解する。 評論の特色を理解できる。		
		2週	評論「ことばとは何か」2		評論の具体例を押さえながら読み, 筆者の価値観や主張を理解できる。		
		3週	評論「ことばとは何か」3		筆者の主張の根拠を的確に理解できる。		
		4週	評論「ことばとは何か」4		評論の読み方を身に付けることができる。		
		5週	小説「鏡」1		小説の語り手について理解することができる。		
		6週	小説「鏡」2		小説に描かれた人物・情景を, 表現に即して読み取ることができる。		
		7週	小説「鏡」3		物語内容とその語られ方から, 語りの意図・語り手の意図を読み取る。		
	2ndQ	8週	小説「鏡」4		小説読解の基礎を身に付ける。		
		9週	前期中間試験		到達目標 (1) (3) (4)		

後期	3rdQ	10週	前期中間試験の解答と解説 評論「ポスト真実時代のジャーナリズム」1	解答・解説から、自己の課題を把握する。 評論の具体例を押さえながら読み、筆者の価値観や主張を理解できる。
		11週	評論「ポスト真実時代のジャーナリズム」2	評論の具体例を押さえながら読み、筆者の価値観や主張を理解できる。
		12週	評論「ポスト真実時代のジャーナリズム」3	筆者の主張の根拠を的確に理解できる。
		13週	古文入門 古文「児のそら寝」1	仮名遣いや文法の違いを理解できる。 物語内容を理解することができる。
		14週	古文「児のそら寝」2	古文の世界に親しむことができる。
		15週	前期期末試験	到達目標（1）（2）（3）（4）
		16週	前期期末試験の解答と解説	前期期末試験の解答・解説を通して、今までの学習方法等を見直す。
		1週	評論「身体、この遠きもの」1	評論の特色を理解できる。
	4thQ	2週	評論「身体、この遠きもの」2	評論の具体例を押さえながら読み、筆者の価値観や主張を理解できる。
		3週	評論「身体、この遠きもの」3	筆者の主張の根拠を的確に理解できる。
		4週	評論「身体、この遠きもの」4	評論の読み方を身に付けることができる。
		5週	詩「自分の感受性くらい」1	詩における表現（言葉や技法）の意味内容について理解できる。
		6週	詩「自分の感受性くらい」2 詩「I was born」1	詩における表現（言葉や技法）を読み深め、作者の思いを理解できる。 詩における表現（言葉や技法）の意味内容について理解できる。
		7週	詩「I was born」2	詩における表現（言葉や技法）を読み深め、作者の思いを理解できる。
		8週	後期中間試験	到達目標（1）（3）（4）
		9週	後期中間試験の解答と解説 評論「記憶する体」1	解答・解説から、自己の課題を把握する。 評論の具体例を押さえながら読み、筆者の価値観や主張を理解できる。
		10週	評論「記憶する体」2	評論の具体例を押さえながら読み、筆者の価値観や主張を理解できる。
		11週	評論「記憶する体」3	筆者の主張の根拠を的確に理解できる。
		12週	漢文「唐詩」1	漢文の特色や訓読の決まりを理解できる。
		13週	漢文「唐詩」2	唐詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむことができる。
		14週	漢文「唐詩」3	唐詩の読解・鑑賞を通して、人間や自然について考えることができる。
		15週	学年末試験	到達目標（1）（2）（3）（4）
		16週	学年末試験の解答と解説	学年末試験の解答と解説を通して、1年間の学習方法等を見直し、次年度に向けた心構えを持つ。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前1,前2,前3,前4,前9,前10,前11,前12,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後15,後16
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	前1,前2,前3,前4,前9,前10,前11,前12,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後15,後16
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	2	前5,前6,前7,前8,後5,後6
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前9,前10,前11,前12,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後15,後16
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	前9,前15,後8,後15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後10,後11
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後10,後11
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	前9,前15,後8,後15
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後10,後11
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後10,後11
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後10,後11
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前10,前11,前12,前15,前16,後9,後10,後11,後15,後16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	後12,後13,後14,後15,後16

				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0